

日本原子力学会北関東支部 第13回大会(令和5年度) 実施報告

開催日時：令和5年4月14日(金) 15:10~17:00

開催場所：リモート及び会場(東海村アイヴィル)

第13回(令和5年度)北関東支部大会は、Zoomウェビナーを用いて、リモート及び会場(東海村アイヴィル)にて開催いたしました。プログラムは以下のとおりです。

1. 令和4年度 技術功労賞 表彰式 (15:10~15:20)
2. 議案審議 (15:20~15:50)
3. 特別講演 (16:00~17:00)

技術功労賞の表彰式では、令和4年度技術功労賞を受賞されたJRR-3利用促進チームの代表である日本原子力研究開発機構 原子力科学研究所 研究炉加速器技術部の吉田慎太郎殿に賞状、楯及び副賞が授与されました。

議案審議における第1号議案、第2号議案では、令和4年度の支部活動の総括として1年間の事業と収支決算を報告しました。その後の第3号議案から第5号議案では、令和5年度の支部幹事の信任、活動方針、予算案の承認が行われました。

特別講演では、小宮山 涼一氏(東京大学大学院 教授)をお招きし、「GX実現に向けた電力・エネルギー情勢」の演題で、GX実現に向けた化石燃料賦課金や排出量取引の導入、再エネの地域共生や原子力活用等についてご講演いただきました。当日は、リモート及び会場を合わせて約70名の方が聴講し、原子力に係る研究がどのような価値をもって社会に実装されていくのかについて考える良い機会になったと思います。

これまで1年間、北関東支部の活動に対してご支援頂き、ありがとうございました。

また、今大会で決定された活動方針に基づき新たに支部活動を開始します。今後とも宜しくお願い致します。

以 上